

## 日本アセアン文化交流事業

### タイ王国 Queen Sirikit Institute と JAPA の共同開催プログラム

### “Queen Sirikit Institute との工芸作品・技術を通じての文化交流”

当事業の実績につきまして、下記のとおり御報告します。

#### 記

1. **事業名** 日本アセアン文化交流事業  
タイ王国 Queen Sirikit Institute と JAPA の共同開催プログラム  
“Queen Sirikit Institute との工芸作品・技術を通じての文化交流”
2. **主催団体等名** 公益財団法人美術文化振興協会（略称：JAPA）
3. **共催及び後援等支援団体等名** Queen Sirikit Institute、タイ王国大使館、  
外務省

**事業開催期間** 2019 年 9 月 30 日（月）～10 月 4 日（金）（滞在期間）

**事業開催場所** 講演：東京藝術大学 正木記念館 滞在：国際文化会館

#### 4. 実施概要

事業の概要： Queen Sirikit Institute との工芸作品・技術を通じての文化交流  
当文化交流は、タイの豊かな文化遺産、Queen Sirikit Institute の作品制作の背景や実際の工芸技術を拝見させて頂くことでタイの文化への理解を深め、日本-タイの友好の礎を築く一助となっていくことを願うものとして実施されました。

タイ王国のワチラロンコーン国王陛下のご許可の下、Queen Sirikit Institute からご講演者と職人の方をお招きし、ご講演と作品展示、ご実演を通して、タイの文化と Queen Sirikit Institute の取り組みの背景（タイの農村救済の絶え間ないシリキット王太后陛下のご努力）、タイの伝統工芸の外観とその工芸技術のご紹介を賜り、心に響く、充実した交流が実現いたしました。

この度は、「《玉虫》がつなぐタイと日本の工芸」と題し、玉虫羽装飾の作品展示と実演に加え、希望者は体験までをさせて頂きました。また、玉虫にちなんだ日本の工芸作品を東京藝術大学収蔵品から出品頂き、タイと日本両国の作品紹介及びその展示を行い、両国の工芸作品の構想と共に職人技から醸される作品の美しさが呼応し、感動を呼び起こしました。

参加者は主に工芸や美術の研究者、学生、タイとの交流に関心を寄せる方などが集まり、熱心に聴講しました。

この交流を経て滞在期間中に今後の交流の可能性について議論する「今後のための意見交換会」を設けました。互いの文化への理解を掘り下げ、引き続き交流を発展させていくことをめざす所存です。

◎ Queen Sirikit Institute 代表団 : 招聘者

Thanpuying Supornpen Luangthepnimit (タイ王国 王太后副秘書官代理)

M.L. Aurajitra Snitwongse (Queen Sirikit Institute ディレクター)

Mr. Sukrit Taechapongtanachot (Queen Sirikit Institute 職人)

Mr. Thanapol Nuamhom (Queen Sirikit Institute セクレタリー)

Miss Bhusdee Navavichit (タイ王国元日本留学生協会 顧問)

◎ 滞在中の日程 (概要)

2019年9月30日(月) 来日 滞在: 国際文化会館

2019年10月1日(火) 日本の工芸関係の見学等

2019年10月2日(水) 東京藝術大学 保存修復日本画研究室訪問  
講演・作品展示・実演(東京藝術大学 正木記念館)  
歓迎宴(上野精養軒)

2019年10月3日(木) 宮内庁三の丸尚蔵館 見学

今後のための意見交換会(明治記念館)

2019年10月4日(金) 帰国

\* ポスター及び当日の配布資料等は別紙をご参照ください。

## 5. ご協力

この度は共催により、Queen Sirikit Institute 側からも資金(航空費等)の充当、ディレクター及び技術者による講師のご協力、タイ語-日本語間の通訳のご協力によるご厚意がございました。

## 6. 特記事項

また、当事業は、JAPAの小和田恒名誉会長、近藤誠一会長、大津英敏理事長、関出常務理事、稲葉政満常務理事、当事業委員の齋藤典彦評議員、荒井経評議員をはじめ JAPAの諸先生方、ご協力者の方々の多大なるご尽力により、営まれました。皆様のご協力を賜りましたこと心より御礼申し上げます。